



平成18年7月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年5月19日

会社名 ゼネラルパッカー株式会社 (JASDAQ コード番号: 6267)
 (URL <http://www.general-packer.co.jp>)
 代表者 役職名 代表取締役社長
 氏名 梅森 輝信
 問い合わせ先 責任者役職名 専務取締役管理部長
 氏名 池澤 晃 (Tel: (0568) 23-3111(代表))

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近会計年度における方法との相違の有無 : 無

- ・たな卸資産の計上は、当中間会計期間末の実地棚卸高を基準に算出した帳簿たな卸高によっております。
- ・固定資産の減価償却費は、年度見込額のうち期間対応分を計上しております。
- ・その他影響額が僅少なものについては、一部簡便的な方法によっております。

2. 平成18年7月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年8月1日～平成18年4月30日）

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年7月期第3四半期	3,248	58.0	205	—	212	—	125	—
17年7月期第3四半期	2,056	△22.8	△65	—	△60	—	△30	—
(参考)17年7月期	3,726		240		245		152	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年7月期第3四半期	27	89	—	—
17年7月期第3四半期	△6	69	—	—
(参考)17年7月期	27	19	—	—

(注)1. 売上高、営業利益等は、当該四半期までの累計値であります。

2. 売上高におけるパーセント表示は、前年第3四半期に対する増減率であります。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。

4. 当四半期数値は監査法人による監査を受けておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当社の各四半期の売上高は、受注案件の売上計上時期の偏りと高額案件の有無等により、大きく変動する傾向にあります。一方、販売費及び一般管理費は比較的に変動が少ないことから、利益につきましても、売上高に大きく影響を受けるため、各四半期の業績は大きく変動する傾向があります。当期につきましては、第3四半期に500百万円以上の大型システムの売上計上を行ったこと等の影響もあり、第3四半期(平成18年2月から4月まで)に経常利益が偏る傾向となっております。

当第3四半期における業績は、高機能・高価格機種の販売台数の増加と大型システムの売上計上があったことから、売上高は前年同四半期を大幅に上回る結果となりました。また、損益面につきましては、前年同四半期に比べ展示会出展費用の発生と人件費の増加等により

販売費及び一般管理費が増加いたしました。また、売上高の増加に加え高粗利益機種の販売台数の増加等により売上高総利益が大幅に増加したことから、経常利益は大幅な増益となりました。

以上のことから、当第3四半期の売上高は3,248百万円、経常利益は212百万円、四半期純利益は125百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年7月期第3四半期	4,720	2,703	57.3	601 31
17年7月期第3四半期	4,201	2,461	58.6	547 51
(参考)17年7月期	4,870	2,644	54.3	581 50

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年7月期第3四半期	△342	△224	△53	917
17年7月期第3四半期	78	△98	△61	1,452
(参考)17年7月期	166	△99	△62	1,538

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における当社の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益の計上や未収入金の減少はあったものの、売上債権の増加やたな卸資産の増加等により前第3四半期末に比べ535百万円減少し、当第3四半期末には917百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

また当第3四半期における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は342百万円となり、前第3四半期の獲得資金78百万円に比べ421百万円資金使用が増加いたしました。この主たる要因は、税金等調整前四半期純利益が当第3四半期には202百万円と前第3四半期の税金等調整前四半期純損失60百万円に比べ大幅に増加したものの、売上債権が前第3四半期は683百万円減少していたことに対して、当第3四半期においては163百万円増加したこと、仕入債務が前第3四半期では5百万円増加していたことに対し、当第3四半期においては137百万円減少したこと等により、獲得資金は減少しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は224百万円となり、前第3四半期の資金使用98百万円に比べ126百万円資金使用が増加いたしました。これは、有形固定資産の取得による支出が前第3四半期の86百万円から当第3四半期においては142百万円へと増加したことや、当第3四半期においては100百万円の定期預金への預け入れを行ったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は53百万円となり、前第3四半期の資金使用61百万円に比べ8百万円減少いたしました。これは、前第3四半期の配当金の支払額が61百万円であったことに対し、当第3四半期における配当金の支払額は53百万円であったこと等によります。

3. 平成18年7月期の業績予想(平成17年8月1日～平成18年7月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	百万円 4,300	百万円 300	百万円 177

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 39円37銭

[業績予想に関する定性的情報等]

ほぼ計画通りに推移していることから、通期業績予想につきましては、平成18年3月7日付「平成18年7月期中間決算短信(非連結)」に記載の予想と変更はありません。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1. 第3四半期貸借対照表

区分	前第3四半期末 (平成17年4月30日)		当第3四半期末 (平成18年4月30日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成17年7月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1 現金及び預金	1,452,712		917,518		1,538,422	
2 受取手形及び売掛金	807,749		1,721,466		1,558,157	
3 たな卸資産	931,495		978,116		790,114	
4 未収入金	252,809		155,425		196,948	
5 その他	70,489		50,288		100,541	
流動資産合計	3,515,256	83.7	3,822,815	81.0	4,184,183	85.9
II 固定資産						
1 有形固定資産	501,521		625,591		497,871	
2 無形固定資産	2,493		2,193		2,418	
3 投資その他の資産	182,550		269,751		185,536	
固定資産合計	686,565	16.3	897,536	19.0	685,826	14.1
資産合計	4,201,822	100.0	4,720,351	100.0	4,870,009	100.0

区分	前第3四半期末 (平成17年4月30日)		当第3四半期末 (平成18年4月30日)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成17年7月31日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)						
I 流動負債						
1 支払手形及び買掛金	1,124,989		1,400,274		1,537,897	
2 賞与引当金	79,077		90,854		23,643	
3 その他	248,014		278,811		371,919	
流動負債合計		1,452,082	34.5		1,769,941	37.5
II 固定負債						
1 退職給付引当金	25,225		22,713		26,585	
2 役員退職慰労引当金	262,978		224,547		265,610	
固定負債合計		288,204	6.9		247,261	5.2
負債合計		1,740,286	41.4		2,017,202	42.7
(資本の部)						
I 資本金		251,577	6.0		251,577	5.3
II 資本剰余金		282,269	6.7		282,269	6.0
III 利益剰余金		1,917,234	45.6		2,140,939	45.4
IV その他有価証券評価差額金		11,109	0.3		29,315	0.6
V 自己株式		△655	△0.0		△951	△0.0
資本合計		2,461,535	58.6		2,703,148	57.3
負債資本合計		4,201,822	100.0		4,720,351	100.0

2. 第3四半期損益計算書

区分	前第3四半期 (自 平成16年8月1日 至 平成17年4月30日)		当第3四半期 (自 平成17年8月1日 至 平成18年4月30日)		前事業年度の 要約損益計算書 (自 平成16年8月1日 至 平成17年7月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	2,056,209	100.0	3,248,761	100.0	3,726,480	100.0
II 売上原価	1,556,737	75.7	2,357,245	72.6	2,727,082	73.2
売上総利益	499,472	24.3	891,515	27.4	999,397	26.8
III 販売費及び一般管理費	565,082	27.5	685,820	21.1	758,846	20.3
営業利益又は 営業損失(△)	△65,610	△3.2	205,694	6.3	240,551	6.5
IV 営業外収益	8,076	0.4	8,136	0.3	8,687	0.2
V 営業外費用	2,980	0.1	931	0.0	3,606	0.1
経常利益又は 経常損失(△)	△60,513	△2.9	212,899	6.6	245,632	6.6
VI 特別損失	100	0.0	10,537	0.3	100	0.0
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△60,614	△2.9	202,361	6.3	245,531	6.6
税金費用	△30,547	△1.5	76,999	2.4	93,309	2.5
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	△30,067	△1.4	125,362	3.9	152,222	4.1

3. 第3四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 (自 平成16年8月1日 至 平成17年4月30日)	当第3四半期 (自 平成17年8月1日 至 平成18年4月30日)	前事業年度の要約 キャッシュ・フロー計算書 (自 平成16年8月1日 至 平成17年7月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△60,614	202,361	245,531
2 減価償却費	21,453	19,715	28,719
3 役員退職慰労引当金の減少額	—	△41,062	—
4 売上債権の減少額(増加額△)	683,213	△163,309	△67,194
5 たな卸資産の増加額	△246,722	△188,001	△105,340
6 未収入金の減少額(増加額△)	△100,855	35,794	△126,618
7 仕入債務の増加額(減少額△)	5,945	△137,623	342,079
8 役員賞与の支払額	△35,000	△30,000	△35,000
9 前受金の増加額(減少額△)	—	△140,745	92,320
10 その他	5,041	132,988	△13,811
小計	272,461	△309,882	360,686
11 法人税等の支払額	△193,422	△42,874	△193,509
12 法人税等の還付額	—	10,562	—
13 その他	△482	△419	△614
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,556	△342,614	166,562
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金の預入による支出	—	△100,000	—
2 有形固定資産の取得による支出	△86,070	△142,919	△86,746
3 その他	△12,288	18,194	△13,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,359	△224,724	△99,849
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 自己株式の取得による支出	—	△296	—
2 配当金の支払額	△61,779	△53,268	△62,586
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,779	△53,564	△62,586
IV 現金及び現金同等物の増加額 (減少額△)	△81,583	△620,904	4,127
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,534,295	1,538,422	1,534,295
VI 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	1,452,712	917,518	1,538,422

(注) 前第3四半期まで営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「役員退職慰労引当金の減少額」及び「前受金の増加額(減少額△)」は、当第3四半期において、金額的重要性が増したため区分掲記しております。

なお、前第3四半期の「その他」に含まれている「役員退職慰労引当金の増加額」及び「前受金の増加額」は、それぞれ6,843千円、11,590千円であります。